

第 10 回小田原市市民活動推進委員会 会議録

- 1 日時：令和 6 年 8 月 29 日（木）午前 9 時 30 分～午前 11 時 30 分
- 2 場所：おだわら市民交流センター UMECO 会議室 4
- 3 出席者：前田委員長、林田副委員長、杉浦委員、北村委員、杉川委員、渡邊委員、島田委員
関係者：UMECO 指定管理者 柏木センター長、興津副センター長、小谷氏、吉田氏
事務局：澤地課長、八田副課長、城戸主査、菊地主事補
- 4 欠席者：安藤委員
- 5 資料：
 - ・次第
 - ・資料 1-1 諮問事項に係る協働促進施策について
 - ・資料 1-2 協働ガイドライン概要版の原稿案
 - ・UMECO 事業資料
 - ・資料 2 小田原市市民活動・協働応援補助金について
- 6 会議内容

■ 開会

■ 議題（1）諮問事項「明日の小田原を創出する協働施策について」

委員長：議題（1）諮問事項「明日の小田原を創出する協働施策について」に入る。それでは、本議題について、事務局から御説明をお願いしたい。

（事務局 資料 1-1「諮問事項に係る協働促進施策について」の「1 協働ガイドラインの活用」について、資料 1-2 も用いて説明）

委員長：ただいまの説明で何か意見や質問はあるか。

委員：表紙の画像が変則的な四角に収まっているが、より大きく表示した方が良いと考える。また、写真の団体について詳しく知りたいので、簡単な説明があると良い。

事務局：御指摘のとおり、画像の大きさについて改善する。またこの写真だけでは何の団体なのか分かりにくいので、簡単な説明を付け加える。

委員：2 ページの協働事例は、もう少し協働の内容がわかるようにしてほしい。特に、UMECO に相談した結果、具体的に何が行われたかを示すことで、UMECO への相談を考えるきっかけになると考える。例えば、近隣の高校とのつながりや、講師への相談を行った結果、どのような行動につながったのかを示すことで、UMECO の活動の様子がイメージしやすくなるではないか。

事務局：協働ガイドラインの概要版は、第 10 期の市民活動推進委員会の改訂版協働ガイドラインの内容に基づいて作成しており、これらの事例はそこから抜粋して引用している。概要版から協働ガイドラインに誘導する意図であるが、御指摘のとおり、事例を削りすぎると、読者が興味を持つポイントが見えにくくなる可能性がある。事例の要約を工夫し、概要版の事例内容をより充実させていきたい。

委員長：4 ページの協働の関わりの方について、これは協働ガイドラインでも同様の図であるのか。この図は左から右にステップアップするイメージを持っているが、途中で始まりに戻る矢印は必要であるのか。

事務局：御指摘の矢印について修正し、次回の案を作成する。

委員長：協働ガイドライン概要版の周知方法について意見はあるか。

委員：PDF 版をダウンロードできるようにしてほしい。また、どのように URL に誘導するか具体的な誘導方法については何か案はあるか。

事務局：UMECO に依頼して市のホームページに誘導する予定だが、その他の誘導についてはまだ考えられていない。今後、その点も考慮に入れて進める。

委員：紙ベースでどのくらい印刷して、どの施設にどのくらい配布するなどの割合はすでに定めているか。

事務局：まだ具体的な印刷枚数は決定していない。またこの資料は外部の企業に発注するのでは

なく、庁内で印刷して配布する予定である。まずは、市内の公共施設に配布できるような枚数を印刷することを考えている。用紙自体についても検討中。さらに、必要に応じて庁内で印刷を増やす予定。現時点では、どの施設に何部印刷するかまでは決定していない。

委員：宣伝方法として、資料を手にとってもらう工夫が必要だと考える。大きなポスターにQRコードを載せて、資料にアクセスできるようにすると良いかもしれない。その方法ならば、大量の紙を消費するよりも、細部まで見たい人に効果的にアプローチできる。詳細を見たいと思った人はポスターを見てから資料を取っていく。そのため、まずはインパクトを与えるポスターを自治会の掲示板や回覧版に掲載するのはどうか。また、SDGs パートナーのような企業にも配布する機会があったら良い。

事務局：SDGs パートナーとして参加している企業や団体は多く、市民活動を支える会もそのパートナーの1団体。SDGs パートナーへの周知については、所管課に依頼すると、メールの形でデータを配布する方法があると聞いている。その部分についても合わせて検討していきたい。

委員長：協働ガイドライン概要版のキャッチコピーについて事務局としての意見はあるか。

事務局：協働を知らない人にも情報を届けたいと考えており、「協働」というキーワードを使わないキャッチコピーにしたいと考えている。具体的には「力を合わせて可能性を広げよう」や「一緒に活動することで広がる可能性！」といったポジティブな表現を用いて、関心を持つ人に訴えかけることを検討している。

委員長：協働ガイドラインの概要版はカラー印刷できるのか。

事務局：キャッチコピーについては最後まで差し替えができる。ぜひ皆さんからの御意見をいただきたい。また、印刷のカラーについては、庁内の印刷室と打ち合わせをしていく。例えば、表紙だけカラーで印刷するといった選択肢も含めて検討していきたい。

委員長：キャッチコピーについて、次の市民活動推進委員会までにいくつか候補を出していただき、それに基づき、さらに意見を出していく形で進めるのはどうか。
(異議なし)

(指定管理者 資料 1-1「諮問事項に係る協働促進施策について」の「2 市やUMECO事業の充実」について、UMECO事業資料も用いて説明)

委員長：ただいまの説明で何か意見や質問はあるか。

委員：支援講座に参加した方はどこで情報を知り、どのような問題意識で来ていたのか。

指定管理者：HPや情報誌、チラシを通じた情報発信のほか、登壇者にSNSでの宣伝のお願いをした。参加者へのアンケートによると参加の動機について登壇者からの紹介やSNS、チラシ等の情報媒体がそれぞれ大体同じくらいの割合であった。

委員：基本的には知り合い経由の参加者が多く、一般の方はほとんどいなかったということか。

指定管理者：おひとり40代と思われる方がいて、その方は一般のチラシを見て参加したとのことであった。一方で参加者の大半である20代前後の若者は、関係者のSNSを通じて参加を決めたとのことであった。

委員：関係者のSNSが中心ということか。

指定管理者：そのとおりである。

委員長：市内の高校をターゲットとしてアプローチしたのか。

指定管理者：市内の一部高校で、夏休みボランティアという事業の前段として高校に出向き、地域活動やボランティア活動を紹介した際にチラシを持参して配布し、参加を呼び掛けた。

委員：実際に参加された方はもともとボランティアに興味を持っていたり、そのような部活動に入ったりしていたのだろうか。

指定管理者：アンケートによると8割の方が市民活動に参加した経験があるとの回答であった。

委員：資料内に「登壇者の話で悩んでいたこと等が解決したような気がした」という意見があ

るが、これは参加者からアンケートでこのような回答があったのか。また参加者が何に悩んでいたのか、そしてその悩みがどのように解決したのかについて分かる範囲で教えてほしい。

指定管理者：この意見はアンケート内の自由記述欄からのものである。ディスカッションに参加していなかったため、具体的な悩みの詳細は不明である。しかし、ある参加者の大学生が、今後の就職や人生の方向性について悩んでいると口頭で話してくれた。ただ、その問題がどのように解決したかについては分からない。

委員：すごく大事なところであると感じた。今回講座に参加してよかったなということが次の機会につながると良い。

委員：「集客方法が課題」との記載がある。これは多くの市民活動センターが直面する課題であり、繰り返さないようにすることが望ましい。例えば、スケジュールの問題で今回参加できなかった学生も、ほかの日程であれば参加可能だったかもしれない。今年度中に大掛かりなイベントを開催する必要はないが、市内で活動している若者を呼び、自身の活動について紹介してもらい、参加した学生の意見を聞くなど、簡単な形で柔軟に活動するのが良いと考える。

委員：「今後の事業」の「団体向け講座」内の活動資金獲得講座についてクラウドファンディングとある。クラウドファンディングはハードルが高く、いきなり導入するのは難しいと感じた。市民の方から相談があったとき、行政の補助金制度は未経験の方にとっては非常にやりやすい制度であるということで、まずはそこから始めたらどうかと紹介している。ひとしきり行政の制度を活用したのち、徐々にクラウドファンディングも考えてみるようなイメージ。そのため、クラウドファンディングだけでなく、寄付を集める方法など他の資金獲得方法も含めて焦点を当ててみるのはどうか。

指定管理者：昨年度、資金獲得という意味で、市の補助金だけでなく色々な行政や団体の補助金制度の活用の講座を行った。昨年度のその内容の講座を開催したので、今年度は第2弾としてクラウドファンディングを考えている。UMECOの登録団体でも、クラウドファンディングをすでに活用している団体が数団体あり、成功した団体も、残念ながら目標値に至らなかった団体もある。そのような意味で、クラウドファンディングをうまく使う方法ということで、クラウドファンディングの仲介メーカーに講座をお願いしようと考えている。その企業は他のサポートセンターでも講座の経験がある企業であるので、今回はそういう形でクラウドファンディングを対象に考えた。まだ詳細が決まっていないので、また別の内容についても検討する。

委員：参加される方は小田原の補助金に興味を持って参加する。講座を受けた市民の方がこの講座も聞いてよかったなと思えるような講座をぜひ実施していただければと思う。

事務局：今回市民活動応援補助金の説明会とUMECOの活動資金獲得講座を同時に行う。市の補助金に関心がある方々は、活動資金についてもある程度興味を持っている。そのような興味を持っている方々に、さらに付加価値として活動資金獲得講座も一緒に受けてよかったなと思ってもらえる講座にしたいということで、今回一緒に開催するところがある。また説明会と講座の内容について、場合によって少しずれが生じる可能性があるが、クラウドファンディングに興味を持つ方々に市民活動・協働応援制度補助金の説明を行うことで、その存在を広めるという相乗効果も狙っている。今後いただいた御意見を参考にさせていただきながら取り組んでいく。

■ 議題（２）小田原市市民活動・協働応援制度について

委員長：議題（２）小田原市市民活動・協働応援制度について、に入る。

（事務局 資料２に基づいて説明）

委員長：ただいまの説明で何か意見や質問はあるか。

委員：応募の手引き５ページの「８ 選考の視点」のレイアウトが見やすくなったと感じるが、６、７ページの余白も考慮すると、例えば、「11 事業完了の手続き等」を６ページの

上に移し、「12 スケジュール」と合わせて6ページ内に収め、7ページの部分を「13 よくある質問」に移動してみると良いのではないかと。それにより、全ての質問を1ページに収めることができ、一目で見やすくすると考える。

事務局：そのように修正を行う。

委員：手引きとチラシに表記の揺れがあるので統一してほしい。手引きでは「募集期間」、チラシでは「応募期間」となっているので、一方に統一してほしい。また括弧や黒枠についていないと思われる箇所がある。各コースのかぎ括弧は不要で、問い合わせ募集実績の部分の括弧も外してほしい。また、募集説明会と活動資金獲得講座の黒枠が目立ちすぎるので、適宜判断して修正してほしい。2ページ目の市民活動の説明では、商品の販売が必ずしも営利目的とは限らないことをもう少し分かりやすい記述にしてほしい。後ほど他の団体のものを参考に送る。

チラシについては、応募スケジュール部分について、募集開始を明示すること。また、他の市のようにマスコットキャラクターを用いると少し柔らかい感じになると考える。UMECOにもゾウのキャラクターがいると思うので、使用の検討をしてみしてほしい。

委員：もしチラシと手引きと一緒に配布されるのであれば、チラシの応募スケジュールにある「10/1～」の記載は必要ないと思う。一方で、もしチラシだけを先に配り、10月に手引きを貰いに来るよう促すのであれば、現状の情報も有用だと思う。

事務局：確かに配られた頃には10月1日を過ぎているので、ご指摘いただいた通り日付の表示をなくす修正をさせていただく。

委員長：市民活動団体の方が10月1日になると応募の手引きが配布されるという情報は、どこを見ればわかるのか。また市の広報にも載るのか。

事務局：毎年、9月末に発送するUMECO情報誌「UMECOだより」の中に手引きを同封して配布している。そのため、登録団体の方は例年通り手引きが届く形になる。また、市の広報や市・UMECOホームページにおいても周知を行う予定である。

委員：応募の手引きについて、応募段階の情報と、例えば9.「補助金の交付」については交付が決まった段階の情報、11.「事業完了後の手続き等」については事業完了段階の情報、とそれぞれタイミングが違うので、その違いが分かるようなタイミングの見出しがあると、分かりやすいと感じた。3ページ目の下の方にある「対象にならない経費」の「事務人件費」についての記載が2つあるので、どちらか1つで良い。また8ページの枠内で「市ホームページで紹介しています。」となっている箇所があるので、修正をお願いしたい。

事務局：御指摘いただいたとおり修正する。また小見出しの検討をする。

委員長：応募の手引きは本会議で確定するのか。

事務局：スケジュールとして、次回の委員会が10月以降となるので、本日いただいた御意見に基づき修正を行い、修正内容については正副委員長に確認をしていただき、内容を確定して配布という形をとらせていただきたいと考えている。

委員長：今様々な御意見をいただいたが、あとひと月になってしまうので、正副委員長で確認するという形でよろしいか。

(異議なし)

■ その他

委員長：その他について、事務局からお願いする。

(事務局 今後の会議日程の調整)

※調整の結果、今後の会議日程及び場所は次のとおりとなった。

第11回委員会・・・10月25日(金)午前 市役所

第12回委員会・・・12月20日(金)午前 UMECO

第14回委員会・・・3月16日(日) UMECO

■ 閉会